


平成28年 11月 14日

豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 宮本英彦 

H28年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
H28年 10月 17日 (月)	市川市	PFI事業について (学校施設複合化)
H28年 10月 18日 (火)	富士市	富士市・富士宮市情報指令センター について
H28年 10月 18日 (火)	菊川市	子ども議会・議会報告会について
H28年 10月 19日 (水)	島田市	図書館自動貸し出しシステム について

豊明市議事課
28.11.14
分類 . . . 30・10・5・1
可・否・一部否・一時否
第 63号 受付

(注) 別紙添付も可能とします。
(注) 本報告書は5年間公開します。

会派「新風とよあけ」の行政視察報告

新風とよあけ 宮本 英彦

1. 視察日時 2016年10月17日(月)～19日(水)
2. 視察メンバー 代表 ふじえ真理子、幹事長 宮本英彦、近藤善人、杉浦光男、後藤 学、富永秀一、会派「清澄」清水 義昭

■市川市

1. 日 時 10月17日(月) 15時30分～17時00分
2. 場 所 市川市役所会議室
3. 市川市 千葉県北西部に位置し、江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と隣接。都心から20キロ範囲内であり、文教・住宅都市として発展している。人口48万人。
議員定数 42名、最大会派は公明党8名
3. 応対いただいた方 議長 稲葉 健二 様
4. 説明いただいた方 市川市企画部企画課主任 笠 真由美様・伊藤 辰浩様、教育委員会生涯学習部教育施設課長 戸佐 薫様・主任主事 中村 祐太様
5. 視察テーマ 『学校施設の複合化について』
 - ・ 昭和38年建設した第七中学校の老朽化が進んでいたこと。耐震診断にて危険建物と認定されたこと。給食室の建替えが必要であったこと。行徳地域(学校区16万人)で地域住民から大規模集会施設(公民館)の要望が大きかったこと。待機児童が多く保育所の整備も必要であったこと、高齢者施設(ケアハウス・ディサービスセンター)の整備が望まれていたことなど、それぞれの背景が重なった結果、第七中学校校舎を建て替えるだけでなく、少子高齢化、核家族化が進む地域で多世代が交流する「ふれあい交流」の拠点として複合化施設として整備することとした。
 - ・ 具体的には、中学校の校舎、給食室、市公会堂、保育所、ケアハウス、ディサービスセンターの6つの施設を、2つのPFI事業として1棟の合築した建物として整備した。
 - ・ 建物は5階建・地下1階、同じ建物であるが各施設は独立しておりセキュリティの問題はない。
 - ・ PFIによって事業コストは、市が想定した総事業費(PSC)より約26%削減できた。
 - ・ PFI事業は「特別目的会社(SPC)」は大成建設(株)、スターツ(株)(建設会社)、上條建設(株)、(株)日本設計で構成(会社の名称は市川七中行徳ふれあい施設(株)、及び、社会福祉法人「長寿の里」の2組織でPFI事業を契約。
 - ・ SPSCとの契約金額は47億3700万円、長寿の里との契約金額は9億5800万円。
 - ・ PFI事業は複雑のため、アドバイザー契約(後にコンサル契約)を日本経営システムと締結した。
 - ・ 議会への事業説明は重要な過程と位置づけ、財政支出の削減・民間事業者が包括的に管理することの 合理性とサービス品質面での利点・官民リスク分散の 合理性を説明、合意形成は比較的スムーズにいった。

<視察を終えて>

複合施設とはいえセキュリティは独立されており管理上の問題はない。学校校舎との複合化に対しPTA・保護者からの苦情も全く無いとのことであった。学校の建て替え時期でもり、また、都心隣接の市のため土地余裕が少ないこともり学校を核とした複合化への理解はスムーズであった。PFIの質問に対する市川市からの回答は期待はずれであった。豊明市も学校校舎を核にした公共施設の複合化施設への視察を積極的に取り組むべきと思う。

■富士市

1. 日 時 10月18日(火)10時00分～11時30分
2. 場 所 富士市・富士宮市消防無線センター執務室
3. 富士市 静岡県東部に位置し、富士山の南麓に広がる気候温暖な地。紙のまち。人口25万人、議員定数 32名
4. 説明いただいた方 富士市・富士宮市消防指令センター長 山口様、副センター長 近藤様、総務部防災危機管理課長 笠井様。
5. 視察テーマ 『MCA画像伝送システムについて』
 - ・ 平成23年防災無線のデジタル化に向け、MCA画像伝送システムへ切り替えた。
 - ・ MCA伝送システムは全域をカバーできるし5千万で導入できるため防災用として229台を配置した。
 - ・ しかし、MCA画像伝送システムは静止画像を連続して送るシステムであるため、無線で送れる画像が少ない、画像解像度が悪い、機器が重い、機器を持って現場へ走らなければならないなどのデメリットにより、現在は各職員が持参しているスマホの動画(位置情報)を活用している。MCA伝送システムは二番手で位置づけている。
 - ・ スマホ動画を大型モニターなどに表示するシステムを400万円程度を導入した。
 - ・ 平成27年9月から富士市と富士宮市とで消防指令センターを稼働させた。
 - ・ 総合型位置情報システムにより通報場所を特定することができるGPS機能を活用した「車両動態管理システム」により両市の全消防車を一元管理している。

<視察を終えて>

MCA画像伝送システムは機器が重いし画像が悪いため、現在は職員各自が持参しているスマホ動画を災害時のメイン機器としたほうが機動的とのアドバイスがあり視察の成果があった。なお、富士市と富士宮市との合同の消防指令センターを視察、本市も尾三消防組合・豊明市・長久手市との広域消防の協議が進んでいるが、早期の合併を期待する。

■菊川市

1. 日 時 10月18日(火)15時00分～16時30分
2. 場 所 菊川市役所会議室
3. 菊川市 静岡県中西部に位置し、東に日本一の大茶園の牧之原台地、南に遠州灘を望む温暖な気候。人口4万6千人、議員定数17名
4. 説明いただいた方 菊川市議会議長 内田様、議会事務局長 五島様。
5. 視察テーマ 『子ども議会について』
 - ・ 平成28年6月21日菊川市校長会へ協力を要請、7月11日には子ども議員の名簿提出期限とし、同月19日までに議会事務局へ原稿提出、同27日子ども議会を開催した。
 - ・ 起案から開催までが短時間であったため、「こんなまちにしたいな 未来の菊川」というテーマとし、子供たちの自由な意見・提言を聞いて、まちづくりの参考にすることとした。
 - ・ 子ども議員の対象は、小学6年生を対象とし、市内9小学校の16学級から、牧之原小学校1学級のクラス代表者1名、17名とした。
 - ・ 17名を4グループに分け、1人原稿用紙3枚程度、約5分程度の発表時間とした。1グループが終わった時点で市長が講評した。
 - ・ 子ども議会の目的が、未来を担う子供たちの自由な意見・提言であるため答弁者は市長であるべきと、こだわった。
 - ・ 保険を掛けた。

6. 視察テーマ 『議会報告会について』

- ・ 議会報告会は今年で8年目になる。小学校区単位の11か所と全体とで、計12回開催している。なお、小学校地区は原則として19時から、全体は平日に参加が難しい主婦の方々を対象に10時からの開催としている。
- ・ 議員17名を4班に編成し分担している。応援班も決め事務局などを担当している。なお、報告会の地域を地盤とする議員は応援班とし、担当班から除いている。
- ・ 参加者は12回の全体で500名程度。議会報告会の開催を知った方法が一番多いのが、自治会での回覧・自治会等の会議。議員からの連絡であった。
- ・ 報告会の28年度スケジュールは3月25日に議会報告会企画委員会（2年任期・7名・テーマ設定・資料作成など）を開催、6月17日から7月30日の間、リハーサルなどを含め11回の会議などを開催、開催後も連合自治会へのお礼報告を含め5回の会議を開催し報告書、アンケート分析などが行われている。

7. 視察テーマ 『政策討論会について』

- ・ 政策討論会に関する「幹事会」（5名）を開催、毎年テーマを設定し、そのテーマに沿った政策を全議員から提案し全員から発表してもらう。全議員が投票し、上位の政策を当局へ「政策提言」として提案する。
- ・ 今年のテーマは、人口減少対策（子育て）、人口減少対策（雇用）。予算へ反映を目指している。12月当局の回答ある。

8. 視察テーマ 『議員研究会について』

- ・ 議員研修の充実・強化に向け、年1回以上議員研究会を開催している。

<視察を終えて>

視察テーマは「子ども議会」であったが、その他の議会の取組みも大変参考になった。子ども議会は、子ども達が子どもの目線で市長へ直接質問したり市長へ提案することにより、より行政を身近に感じてもらうことを目的とすべきであり、議員はその機会を設けてあげることに徹すれば良い。議会報告会は市民と議会が直接接する機会であるため、報告会の位置付けを上げ、もっときめ細かく実施すべきと思った。政策討論会も議員研究会も議員の資質向上に寄与すると確信した。詳細を再度、視察したほうが良い。

■島田市

1. 日 時 10月19日（水）10時00分～11時30分
 2. 場 所 島田図書館会議室
 3. 島田市 静岡県ほぼ中央、大井川の中流域に位置し、市の南部の富士山静岡空港を始め、東名高速、新東名高速、国道1号バイパスなど交通の結節点。人口10万人、議員定数20名
 4. 説明いただいた方 島田市図書館課 課長 杉山 様
 5. 視察テーマ 『図書館の自動貸し出しシステムについて』
- ・ 平成24年9月、市の駅前の「中心市街地交流拠点施設」（複合施設）の2階・3階にオープン、ICタグを使用した最新の自動貸出システムを導入した。
 - ・ 施設面積が増えたことにより貸出窓口が増加したこともあり、自動貸出機の導入によって職員の数が増減してはいない。変化はない。
 - ・ 自動貸出機を導入したが、台数が2階2台、3階1台と少なくため、また、機械操作エラー時のアラーム音などを気にする方などにより、利用する人は全体の16%程度しかない。

- ・ 子どもの読書推進を目的とし、貸出履歴を銀行通帳に似た通帳を発行した。通帳は「読書通帳機」を導入し、子供たちが通帳記帳機で操作、楽しんで記帳していた。
 - ・ 「除菌ボックス」を導入。むしろ保護者の方に好評とのことであった。
 - ・ 雑誌スポンサー制度を導入。企業・団体からスポンサーとして一定期間(原則として1年以上)、新刊雑誌を図書館へ寄贈。閲覧用カバーなどにスポンサーの名称・広告を提示、スポンサー数36、雑誌62誌。
6. 視察テーマ 『こども館について』
- ・ 児童センターの老朽化に伴い、子どもの居場所を整備、子ども・保護者・家族と多世代が集まる場所として、図書館と同じ複合ビルの4階へ新設した。
 - ・ 子ども達が遊びを通じて運動する機会がなくなることがないように、屋内で体を動かすことができる遊具を選定、遊具はデンマーク製。
 - ・ 有料の遊具エリアは1日4回、2時間ごとに入れ替え。小学生100円、市内大人100円。市外200円。未就学児は保護者同伴。
 - ・ 子どもたちが伸び伸びと楽しく遊んでいる笑顔が印象的であった。
 - ・ 指定管理料 1億3千万、28年度2650万円。指定管理者 東海ビル管理㈱

<視察を終えて>

島田図書館は図書館の建て替えにあわせ、利便性が高い島田駅に近い市の中心街の複合ビル(1階はマーケット、2～3階図書館、4階こども館)の中へ新設したこともあり、利用者が急増したとのこと。本市の図書館の大規模改修時には複合施設とすべきと確信した。児童貸出機が導入されているが、新築移転時であるから特に目新しい機器ではない。除菌ボックスは保護者の意識だけであり、除菌の機能は過信できない。「こども館」は改めて視察する価値あると感じた。

以上